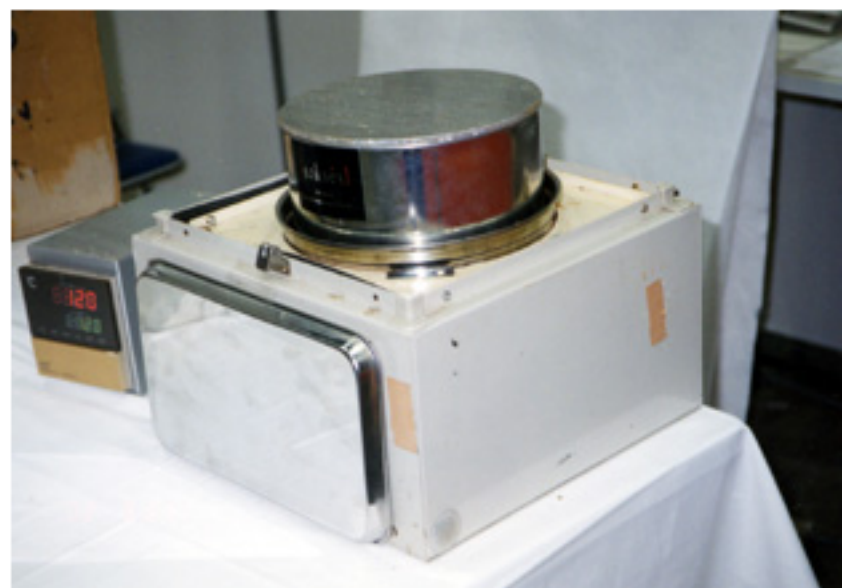


紙屑・生ゴミ・廃プラスチックの加熱殺菌減容器

【技術・製品の概要と特徴】

混合ゴミを作らず、ゴミが発生するたびに圧縮加熱することにより減容化する小型加熱殺菌減容器。上部のゴミ箱が圧縮ピストンを兼ね、下部の圧縮加熱室がシリンダーと減容成型品の貯蔵部を兼ねる。従来法より低温の60～180℃処理で分解臭がなく、0.01～1気圧低圧成型のため手動圧縮、機械圧縮の選択ができる。減容率は廃プラスチックで1/5～1/50、紙屑では1/2～1/5と大幅のためゴミ臭の予防とカラス害を防止できる。



【用途】

- (1) 家庭用ゴミ減容器
- (2) 業務用ゴミ減容器
- (3) 医療廃棄物処理

【希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域】

- (1) 特許実施権供与、共同研究開発
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内に限る

【開発段階】

製造・販売実績 (有)
関連特許 (有)

【提供可能資料など】

技術資料、パンフレット、サンプル、特許公報